



2019年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年3月7日

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

上場取引所 東

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 2019年3月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期第1四半期の連結業績(2018年11月1日～2019年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第1四半期	8,806	2.0	118	19.6	104	28.9	82	
2018年10月期第1四半期	8,635	0.3	99	9.1	81	15.3	19	62.2

(注) 包括利益 2019年10月期第1四半期 30百万円 (53.3%) 2018年10月期第1四半期 20百万円 (73.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第1四半期	6.84	6.82
2018年10月期第1四半期	1.63	1.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年10月期第1四半期	24,202	3,167	13.0	259.39
2018年10月期	24,387	3,136	12.7	379.07

(参考) 自己資本 2019年10月期第1四半期 3,134百万円 2018年10月期 3,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期		0.00		0.00	0.00
2019年10月期					
2019年10月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年10月期の連結業績予想(2018年11月1日～2019年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	3.7	76		51		8		0.66
通期	32,800	1.7	264		213		48		3.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年10月期1Q	12,688,000 株	2018年10月期	12,688,000 株
期末自己株式数	2019年10月期1Q	603,482 株	2018年10月期	603,482 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年10月期1Q	12,084,518 株	2018年10月期1Q	12,084,518 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に穏やかな回復基調にあるものの、生活必需品の値上げなどを受け、消費者の節制志向は根強く残っている状況です。

当社グループを取り巻く事業環境につきましても、スマートフォンの普及や、動画や音楽配信サービスの充実による時間消費方法の多様化など、様々な要因により厳しい状況で推移しております。

こうした状況の中、当社グループは2018年11月23日に蔦屋書店小出店（新潟県魚沼市）を113坪増床し、外装内装ともに大幅な改装を行いました。書籍や文具などの既存の商品に加え、食品、インテリア、キッチン用品などを新規導入いたしました。

また、楽天株式会社と連携し、テナントとして楽天モバイルを誘致し、小出店を含む19店舗にて運営を開始しております。

このように、当社グループでは、大型複合店舗の広い売場に、書籍、映画、音楽、ゲームといった「日常的エンターテインメント」を集約し、さらにBook&Cafeスタイルの導入や、特撰雑貨・文具など販売品目の拡大・充実、そして携帯ショップやネイルサロン、美容室などの新たなテナントの誘致により、多様なライフスタイルに対応し、店舗へご来店いただくことの価値をさらに高めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高8,806百万円（前年同期比102.0%）、営業利益118百万円（前年同期比119.6%）、経常利益104百万円（前年同期比128.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益82百万円（前年同期比418.9%）となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、店舗数が増加したことに加え、既存店においても特撰雑貨・文具が前年同期比111.2%と売上を伸ばしたことや、テナントの誘致を積極的に行った結果、賃貸不動産収入も好調に推移しました。その一方で、人気タイトルに恵まれなかった販売用CD・DVD部門が苦戦しており、当社グループの主軸である蔦屋書店事業全体の売上高前年同期比は102.7%（既存店93.9%）となりました。

利益面につきましては、店舗数の増加により売上、販管費ともに増加しましたが、一方で運営コストの見直しや、店舗照明のLED化を推進した結果、既存店の販管費は大幅に削減し、販管費率は下降しました。加えて、売上好調な特撰雑貨・文具の粗利改善を行った結果、営業利益は前年同期比19.6%増加し118百万円に、経常利益は前年同期比28.9%増加し104百万円となりました。さらに、法人税等が前年同期比13.6%と減少した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比318.9%の増加となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております

①蔦屋書店事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高8,611百万円（前年同期比102.7%）、セグメント利益は111百万円（前年同期比134.0%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍103.7%（既存店97.0%）、特撰雑貨・文具117.4%（既存店111.2%）、レンタル99.2%（既存店86.2%）、ゲーム・リサイクル99.5%（既存店82.8%）、販売用CD62.8%（既存店56.7%）、販売用DVD88.3%（既存店80.4%）、賃貸不動産収入188.7%（既存店134.2%）となりました。

②その他

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高196百万円（前年同期比79.3%）、セグメント損失は14百万円（前年同期比486.7%）となりました。

当セグメントの内、中古買取販売事業は1店舗を閉店したことに伴い、売上高前年同期比73.2%、スポーツ関連事業等は売上高前年同期比95.0%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比184百万円減少し、24,202百万円となりました。これは主に現金預金の減少により流動資産が730百万円減少した一方、リース資産及び投資有価証券の増加により、固定資産が545百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末比215百万円減少し、21,035百万円となりました。これは主に買掛金が387百万円、リース債務が154百万円、それぞれ増加した一方、1年内返済借入を含む長期借入金が548百万円、短期借入金が100百万円、未払金が73百万円、それぞれ減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末比30百万円増加し、3,167百万円となりました。これは主に、利益剰余金が82百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額が52百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績が概ね計画通り推移していることから、2018年12月6日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,447,514	2,115,420
売掛金	280,559	291,273
商品	9,106,109	9,712,106
前払費用	337,511	332,064
未収入金	220,221	210,734
その他	25,221	24,641
貸倒引当金	△404	△404
流動資産合計	13,416,733	12,685,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,179,925	2,139,169
土地	1,423,759	1,423,759
リース資産(純額)	3,057,834	3,248,810
その他(純額)	318,131	315,673
有形固定資産合計	6,979,651	7,127,413
無形固定資産		
その他	56,076	54,174
無形固定資産合計	56,076	54,174
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,433,690	3,396,351
その他	501,422	938,796
投資その他の資産合計	3,935,112	4,335,148
固定資産合計	10,970,840	11,516,736
資産合計	24,387,573	24,202,574

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,303,600	3,691,085
短期借入金	3,800,000	3,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,341,430	2,145,432
リース債務	524,611	520,812
未払法人税等	63,253	35,210
賞与引当金	60,000	27,000
未払金	540,890	467,169
その他	254,836	267,239
流動負債合計	10,888,622	10,853,949
固定負債		
長期借入金	5,445,975	5,093,460
リース債務	4,021,972	4,180,497
資産除去債務	528,058	530,014
退職給付に係る負債	73,673	70,495
役員退職慰労引当金	62,941	62,941
長期未払金	55,106	56,895
長期預り敷金保証金	172,767	185,304
その他	1,767	1,587
固定負債合計	10,362,260	10,181,195
負債合計	21,250,883	21,035,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,598	2,303,598
利益剰余金	△935,201	△852,595
自己株式	△270,028	△270,028
株主資本合計	3,105,737	3,188,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,484	△53,767
その他の包括利益累計額合計	△1,484	△53,767
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	24,186	24,603
純資産合計	3,136,690	3,167,429
負債純資産合計	24,387,573	24,202,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年1月31日)
売上高	8,635,910	8,806,948
売上原価	6,022,331	6,147,908
売上総利益	2,613,579	2,659,039
販売費及び一般管理費	2,514,383	2,540,369
営業利益	99,195	118,670
営業外収益		
受取利息	5,113	4,590
協賛金収入	5,818	6,570
原子力立地給付金	5,931	7,381
その他	3,401	2,836
営業外収益合計	20,264	21,378
営業外費用		
支払利息	38,107	35,198
営業外費用合計	38,107	35,198
経常利益	81,353	104,850
特別損失		
減損損失	—	13,527
特別損失合計	—	13,527
税金等調整前四半期純利益	81,353	91,322
法人税、住民税及び事業税	5,221	8,299
法人税等調整額	55,659	—
法人税等合計	60,881	8,299
四半期純利益	20,472	83,022
非支配株主に帰属する四半期純利益	751	416
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,720	82,606

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)
四半期純利益	20,472	83,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△426	△52,283
その他の包括利益合計	△426	△52,283
四半期包括利益	20,045	30,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,294	30,322
非支配株主に係る四半期包括利益	751	416

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年1月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年12月7日 取締役会	普通株式	90,633	7.5	2017年10月31日	2017年12月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,388,700	247,210	8,635,910	—	8,635,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	972	972	△972	—
計	8,388,700	248,182	8,636,883	△972	8,635,910
セグメント利益又は損失(△)	83,209	△2,928	80,280	18,915	99,195

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業、スポーツ関連事業及び店舗設備の維持管理等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,611,013	195,934	8,806,948	—	8,806,948
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	850	850	△850	—
計	8,611,013	196,784	8,807,798	△850	8,806,948
セグメント利益又は損失(△)	111,524	△14,253	97,270	21,400	118,670

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業、スポーツ関連事業及び訪問看護事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	全社・消去	合計
	蔦屋書店事業			
減損損失	13,527	—	—	13,527

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

区 分		前第1四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年1月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	4,238,919	49.1	4,397,725	50.0	103.7
	特撰雑貨・文具	1,214,464	14.1	1,425,626	16.2	117.4
	レンタル	1,059,031	12.3	1,050,773	11.9	99.2
	ゲーム・リサイクル	563,488	6.5	560,549	6.4	99.5
	販売用CD	508,417	5.9	319,479	3.6	62.8
	販売用DVD	259,531	3.0	229,229	2.6	88.3
	賃貸不動産収入	69,144	0.8	130,476	1.5	188.7
	その他	475,702	5.5	497,152	5.6	104.5
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	8,388,700	97.2	8,611,013	97.8	102.7
その他	外部顧客に対する売上高	247,210	2.8	195,934	2.2	79.3
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	972	0.0	850	0.0	87.4
	計	248,182	2.8	196,784	2.2	79.3
合計		8,636,883	100.0	8,807,798	100.0	102.0

(注) 1 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

3 蔦屋書店事業の「その他」は、図書カード他であります。

4 前連結会計年度まで、蔦屋書店事業の「その他」に含めて計上しておりました賃貸不動産収入の計上については、当連結会計年度より「賃貸不動産収入」として計上することといたしました。なお、これに合わせて前連結会計年度の売上高を組み替えております。